

# 6年目の福島


2011年12月、野田佳彦首相が「事故収束」宣言をしてから5年経った。13年9月、安倍首相が五輪誘致演説で、事故は「アンダーコントロール」と宣言してから3年半。

しかし凍土壁も機能せず、地下水の構内流入も海洋汚染も続く。メルトダウンした核燃料の取り出しも見通しが立たず、一方で子どもの甲状腺がんも多発し続けている。

それなのに、強引な安全宣言で避難者への支援は打ち切れ、世界が危険とみなす地域への帰還が迫られる。

写真・文 広河隆一

Photo & Text by Ryuichi HIROKAWA



画面右から1、2、3、4号機と並ぶ。2号機は内部のデブリ（溶けた核燃料）と思われるものの撮影に成功したが、そのあたりの放射能は毎時530シーベルトと推計される。しかも圧力容器には大きい穴が確認された。6年かかってようやく内部のごく一部を覗くことができるようになった状態だ。福島第一原発。2017年1月25日